

企業ニュース リソー教育

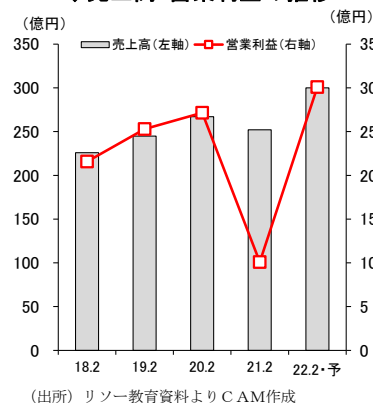
(東証1部：4714) <https://www.riso-kyoikugroup.com/>

作成者：村上大志

進学個別指導塾「TOMAS」を展開

1985年設立。1クラス6名を限度とした正社員講師による責任ある指導体制を目指し、「理想教育研究所」という呼称で教室を展開。1990年に「完全個室（全室黒板付）の1対1の個人教授システム」を開発し、教室名を「東京マンツーマンスクール」に改称しサービスの提供を開始。2000年に「TOMAS（トーマス）」を正式名称とした。教育サービスの多角化も進めており、1989年に名門会家庭教師センターを、2000年にはインターネットを利用したリアルタイムによる双方向性の完全個別指導を目的として日本エデュネットを設立した。さらに、2002年に人格形成・情操教育を支援するスクールツアーシップ（現在のプラスワン教育）を設立、2003年には名門幼稚園・小学校の受験指導を行う伸芽会を子会社化している。中期経営計画では24.2期の売上高355億円、営業利益37億1,000万円を目指す。

◇売上高・営業利益の推移



通常運営に回帰し、生徒数は順調に増加

22.2期・第2四半期累計（3-8月）の連結業績は売上高が146億円、前年同期比32%増、営業利益が13億3,100万円、前年同期の4億6,000万円の赤字から黒字化した。新型コロナウイルスの感染拡大による休校、自粛などから通常運営に回帰したことに加え、ワクチンの職域接種を従業員及び家族、講師、生徒の保護者に実施するなど安心安全をアピールしたことで、主力のTOMASを中心に生徒数が順調に増加した。また、TOMAS、伸芽会の値上げも業績に寄与した。

22.2期の会社計画は売上高が300億円、前期比19%増、営業利益が30億1,000万円、同198%増。値上げによる集客へのマイナス影響が懸念されたが順調に生徒数は増加しており、事業は復調している。コロナ禍で学習習熟度にバラつきが出ている模様で、個別指導へのニーズは拡大している。新規教室の積極的な開設でエリアを拡大しており、今期TOMASは7校新設、4校の拡大リニューアルを実施した。コナミスポーツクラブなど他業種との提携により、幼児教育市場の開拓も進めており、業績への貢献が期待される。

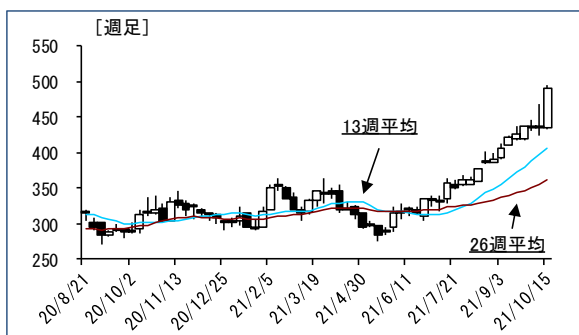
【株価動向・投資判断】

少子化を追い風とした商品づくりが奏功している。今期はコロナ禍からの回復と主力事業の成長で過去最高の売上高、営業利益の更新が期待される。

<4714 リソー教育 業績：日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
20.2	26,704 (9)	2,716 (7)	2,749 (8)	1,953 (24)	13.2	12.00
21.2	25,201 (▲ 6)	1,010 (▲ 63)	1,192 (▲ 57)	555 (▲ 72)	3.8	9.50
22.2 予	30,000 (19)	3,010 (198)	3,000 (152)	2,100 (279)	14.4	14.00



【主要株価指標】 (売買単位：100株)	
株価 (2021/10/15)	491 円
年初来高値 (高値日)	494 円 (21/10/15)
同 安値 (安値日)	276 円 (21/5/13)
予想 P E R (22.2 予)	34.2 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	40.6 円
P B R	12.08 倍
予想配当利回り (1株当たり配当金年14.00円)	2.85 %
R O E (21.2)	8.8 %
発行済み株式数	15,621 万株